

「資料から読み取ったことを グラフに表してわかりやすく伝えよう」

全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することに課題が見られました。本アイデア例は、示された資料から様々な特徴を読み取り、目的に応じてグラフを選択し、資料を活用できるようにすることを狙いとした授業です。

授業アイデア例

保健委員会では、けがを減らすために、1学期のけがの様子を、全校のみんなに伝えることにしました。

6月がいちばん
けが多いです。



けがの中でも、
「すりきず・切りきず」がいちばん
多いです。



1学期のけが調べ (件)

	4月	5月	6月	7月	合計
すりきず 切りきず	23	23	39	21	106
打ぼく	11	13	18	8	50
ねんざ	5	4	6	4	19
つき指	1	5	3	5	14
その他	5	7	9	1	22
合計	45	52	75	39	211

どの月も「すりきず・
切りきず」が各月の合計
の半分くらいあります。



「すりきず・切りきず」
は、6月は多いけど、7
月は減っています。



どのけがも増えたり
減ったりしています。



グラフに表す目的を明確にするために、表から分かることを読み取らせ、そこから伝えたいことを見つけられるようにしましょう。



教師

みなさんは、この表を見て、
どんなことを伝えたいですか。

いちばんけが多い月を
伝えたいです。



① けが多い月を伝えるための表し方を考える



今まで、いろいろなグラフの表し方を学習しましたね。
けが多い月を伝えるために、どのグラフに表しますか。

多い、少ないを表す
ためには棒グラフに表
すとよいかな。

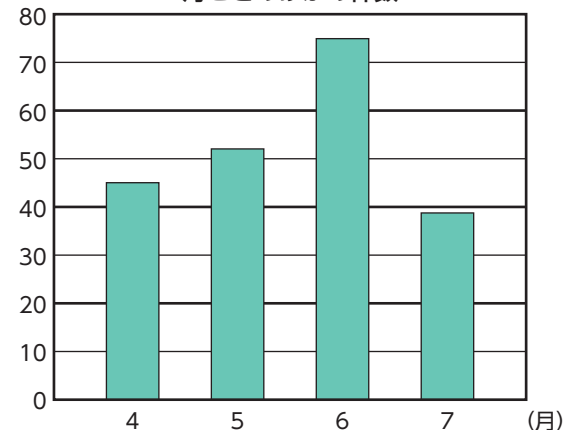


1学期のけが調べ (件)

	4月	5月	6月	7月	合計
すりきず 切りきず	23	23	39	21	106
打ぼく	11	13	18	8	50
ねんざ	5	4	6	4	19
つき指	1	5	3	5	14
その他	5	7	9	1	22
合計	45	52	75	39	211



(件) 月ごとのけがの件数



棒グラフで表したら、いちばんけが多い月
は6月だということが見てすぐわかります。



棒グラフに表すと、目もりを読むだけで6月
が7月より30件以上多いこともわかります。



棒グラフで表すと、6月のけがの件数が多いことが伝わりやすいですね。

B 2 資料の観察と目的に応じた表現（水の使用量）

B 2 (3) 正答率 **61.7%** 6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ

〔第2学年〕D 数量関係 (3)
〔第3学年〕D 数量関係 (3) ア
〔第4学年〕D 数量関係 (4) イ
〔第5学年〕B 量と測定 (2) ア
〔第5学年〕D 数量関係 (4)

2 全体と部分の関係を伝えるための表し方を考える



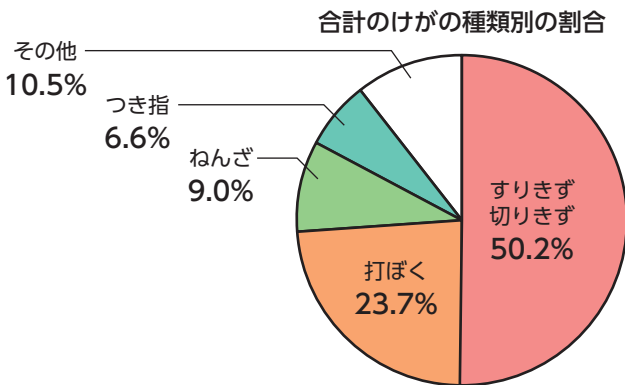
次に、けがの中でも、特に「すりきず・切りきず」が多いことを伝えたいです。

表の数値を見ると、けがの合計の半分くらいが「すりきず・切りきず」になっています。



「すりきず・切りきず」が合計の半分くらいになっていることを伝えるために、どのグラフに表しますか。

円グラフがいいと思います。



円グラフにすると、「すりきず・切りきず」が全体の半分くらいであることが見てわかります。



「すりきず・切りきず」は全体の $\frac{1}{2}$ くらいです。「打ぼく」は全体の $\frac{1}{4}$ くらいあることもわかります。



円グラフで表すと、けが全体に対する、「すりきず・切りきず」の割合が半分くらいであることが円の中の大きさを見るだけで伝わりますね。

けがの件数や割合について分かったので、今度は、どの場所でけがが発生しているのか調べたいです。

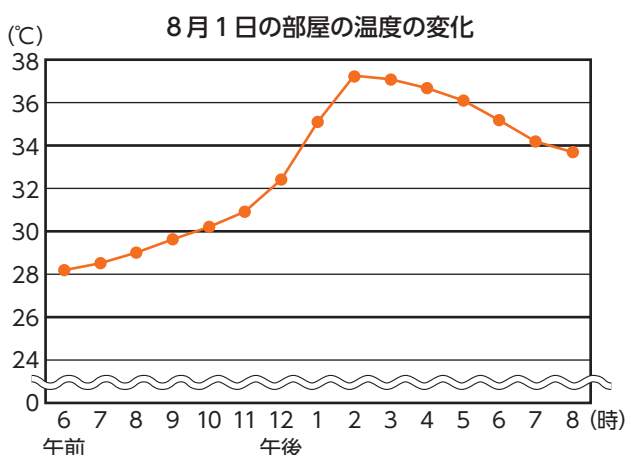


本授業アイデア例 活用のポイント

グラフに表す目的とそれぞれのグラフの特徴を明確にし、選択したグラフが適切であることを振り返ることが大切です。

目的に応じて表を読んだりグラフを選択したりして、資料を活用する授業の例

〔第4学年〕「折れ線グラフ」



1日の部屋の温度の変わり方を調べて夏休み中の生活の仕方についてお知らせします。



午前中は、気温が低いです。だから、この時間に宿題をすると、はかどりそうです。



午後1時から3時は気温が高いです。熱中症に注意しないといけません。



折れ線グラフを見ると、部屋の温度の変化がよく分かりますね。

